

## 酒蔵の紹介 事例2

# 山中漆器

 Yamanaka lacquerware

山中漆器は、安土桃山時代に、現在の加賀市に木地師の集団が移住したことに始まる。その後、山中温泉の土産品や、茶道具などの塗り物の産地として発展。椀などの丸物木地をろくろで挽く挽物木地の分野では、縦木取りや加飾挽きなど、山中独自の高い技術を有する。

### 紹介者



松浦酒造有限会社  
代表取締役  
松浦 文昭 氏  
CEO  
Fumiaki Matsuura



### 日本酒との相性

山中の木地職人がやわらかな木の口あたりを追求し、お酒の香味の広がりも計算して仕上げた酒盃。自然とのふれ合い、木のぬくもりを感じさせる作品。左の写真は、木地師中嶋 武仁 氏制作の酒盃に蒔絵で地酒「獅子の里」のロゴを画いたもの。

### 石川で買える店紹介

※「獅子の里」酒盃は、松浦酒造にて販売。

山中うるし座 石川県加賀市 山中温泉塚谷町イ268-2 ☎ 0761-78-0305

URL <http://www.kaga-tv.com/yamanaka/>

Mail [ylca@kaga-tv.com](mailto:ylca@kaga-tv.com)



## 酒蔵の紹介 事例3

# 九谷焼

 Kutaniyaki

九谷焼は、江戸時代初期の1655年に加賀藩の命により九谷(現在の石川県加賀市)に窯を築いたのが始まりと言われており、繊細かつ鮮やか画風が特徴。明治時代には、海外に輸出されるようになり、明治6年(1873年)のウィーン万博で、その高い芸術性が世界に広まった。

### 紹介者



株式会社車多酒造  
代表取締役  
車多 一成 氏  
CEO  
Kazunari Shata



### 日本酒との相性

当社の山廃純米酒は熟成による濃い山吹色が特徴、この色を目で楽しんでいただくためにはガラスの器が最適。中でもグラスのステムとプレート部分が九谷焼の鍍金ワイン&酒グラスは、お酒の色合いと風味を楽しむことができおすすめ。

### 石川で買える店紹介

鍍金商舗 石川県金沢市長町1丁目3-16 ☎ 076-221-6666

URL <http://kaburaki.jp/>

Mail [kanazawa@kaburaki.jp](mailto:kanazawa@kaburaki.jp)

